

## 見目町長の町政運営の考え方について

町長「町のよさや素晴らしさを積極的に

発信してまいります。」

### 問

町長は施策としてLRTによる交流人口、デマンド交通の発展的な見直し等による便

え方で町政運営をしていくのかその胸の内の熱い思いや夢将来像、哲学をお聞きます。

### 答

町長 町内の農地の約8割が水田であることから、土

利、郷土愛・文武両道の教育、進出企業との交流、福祉・介護・医療の充実等による笑顔、情報発信力の向上、農業効率化、はが米ブランド化等による話題を挙げています。また、今年度は芳賀町の今後12年間のビジョンの骨子を定める第6次芳賀町振興計画策定の重要な年です。

そこで、芳賀町の将来をどのような方向にしていくのか「優良農地への農業政策」と「地方創生」に絞って、どのような考

地中間管理事業を活用した耕作農地の集積化を進めることで、農作業の効率化・競争力向上を図り、付加価値の高い米作りでは、安全・安心こだわりの米作りに取り組み、米価の安定と産地間競争で勝ち残るために意欲ある農業者を支援していきます。



大島 浩 議員  
(西水沼)



## 食肉センターについて

町長「周辺住民を対象とした先進地視察の実施に

向け、県などに働きかけを行います。」

### 問

県畜産酪農研究センター芳賀分場跡地に建設が予定されている食肉センターの地元説明会で県が説明した内容と地元

の反応についてお聞きます。私も畜産業を営んでおり、現在の食肉センターの老朽化や稼働限界を数年前から聞いていたので、新設予定食肉センターの早期稼働を望んでいます。他県でも栃木県と同様に新設されている食肉センターへの視察・研修を実施する考えはありますか。

町長 地元説明会は平成27年2月24日に県及び食肉センター整備検討協議会により、農業者トレーニングセンターにおいて46人の出席のもと行われました。旧来のと畜場とは違い、

新設予定の食肉センターは高度の衛生管理を行うことで外見からも食品加工場と考えていただきたいという説明でした。地域の方から質問もありましたが、絶対反対などの意見もなく、最後にはむしろ地域貢献に寄与してほしいとの意見が出るほどでした。

### 答

町長 地元説明会は平成27年2月24日に県及び食肉セ

地域創生の考え方については、地域の創生なくして国の繁栄存在はありえないことから、国は地域の独自色を出して取り組むことを提唱しました。そのようなことから、町づくりは現状にプラスして町外に向けて芳賀町の良さや素晴らしさを積極的に発信し、町外の方から見てもにぎわいのある町、活気のある町を作っていくことで交流人口を増やし、その結果、定住人口が増えていくような施策を本年度策定する第6次振興計画に反映させていきます。

町長 地元説明会は平成27年2月24日に県及び食肉センター整備検討協議会により、農業者トレーニングセンターにおいて46人の出席のもと行われました。旧来のと畜場とは違い、新設予定の食肉センターは高度の衛生管理を行うことで外見からも食品加工場と考えていただきたいという説明でした。地域の方から質問もありましたが、絶対反対などの意見もなく、最後にはむしろ地域貢献に寄与してほしいとの意見が出るほどでした。



▲県畜産酪農研究センター芳賀分場



北條 勲 議員  
(給部)

## 選挙事務について

選挙管理委員会「次回の選挙から改善します。」

**問** 芳賀チャンネル番組表に町長・議会議員の選挙開票状況を生中継しますのでご覧くださいとありました。町民だれもが選挙結果を早く知りたくてテレビを見ていましたが、開票事務の初歩的ミスの映像に絶望しました。町民にわかるように説明願います。

**答** 選挙管理委員会委員長 当選証書付与式でも申し上げましたが、一部不手際があり、選挙管理委員会として深くお詫び申し上げます。

テレビ放映は、投票率アップにつながるの思いで了承したものです。

**問** 立候補届出の事前審査があつたにもかかわらず受付がスムーズに出来なかつた理由は。

**答** 選挙管理委員会書記長 立候補届出の受付が一カ所と少なく大変ご迷惑をおかけしました。次回からは迅速に進むよう改善します。

**問** 開票台の上の投票箱を全部開けなかつたにもかかわらず、開票係と氏名確認係を帰した理由は。

**答** 選挙管理委員会書記長 すべての投票箱が開票台に上がつていることを確認しないまま開票を進めてしまったためです。

すべての投票箱が開票台に上がつていることを確認しないまま開票を進めてしまったためです。



**問** 芳賀チャンネルを見たが、選挙管理委員会の放送は聞こえない、開票事務を映しているが作業内容の説明がないので町民は何をしているのかわからなかつた。今後の反省点は。

**答** 選挙管理委員会書記長 芳賀チャンネルの放映は、投票率向上になるの思いで放映を了承したものです。今回の放映をよく検証し、放映はどうあるべきか、広報係と協議しながら検討します。

**問** 広報の「あなたの声を聞かせてね」の欄に「町民が注目した選挙放映がはつきり伝わらず残念でした。今後の課題ですね。」とありました。選挙係も広報係も同じ総務企画部内の職員です。もっと連携が必要と思えますが町長の考えは。

**答** 町長 放映については、選挙係ばかりでなく、事前打合せをするよう指示します。

## 職員が働きやすい環境について

町長「職員の意見を尊重し、話し合う機会を持ちたいと考えています。」

**問** 町長初登庁時に、職員が生懸命仕事をすることができ環境をつくると述べたが、具体的にどうするのか。

**答** 町長 町振興計画の施策のひとつに「職員の育成」があり「職員は働く喜びを感じられる」という目的が掲げられています。職員がやりがいや達成感、働く喜びを感じられるよう町政運営をしたいと考えています。まずは職員の意見を尊重し、じっくりと話し合う機会を持ちたいと考えています。

また町長の事務執行に関する最高審議機関である庁議を毎月一回以上開催し、部課相互の総合調整・情報共有を図り、トップダウンではなく、ボトムアップの組織となることで職員が働きやすい環境が実現するのではないかと考えています。



▲庁議の様子

**問** 初登庁の訓示では「町民から信頼される職員になり失敗を恐れず、目標に向かって前向きに取り組んでほしい」とあった。しかし、失敗したとき

**答** 町長 当然町長です。の行政の最高責任者は誰か。

できる限り職員自身の考えを前向きに出せるような形を考えています。

旧高橋小学校跡地を介護保険等入所施設にしては

町長 「高齢者が安心して住み続けることのできる環境を整備していきます。」

**問** 芳賀町の高齢者数は増加傾向にあり、65歳以上の高齢化率が30%に達する見込みです。高齢者人口の増加に伴い、後期高齢者の要支援、要介護の認定者数が急増しています。町内には旧小学校跡地が存在しますが、特に旧高橋小学校跡地を有効活用して、介護保険等入所施設を整備してはどうかと考えますが町の考えを伺います。

**答** 旧小学校跡地の有効利用の検討も含め整備したい

**町長** 我が国では、急速な高齢化の進行により、超高齢社会を迎えています。このため、町としても高齢者が住みなれた地

域において健康で生きがいを持って住み続けられるよう医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に確保されるよう、地域包括ケアシステムの体制づくりを推進しています。今後は、ひとり暮らしの高齢者、高齢夫婦だけの世帯の増加や、家族の高齢化に伴う介護力の低下などで介護施設への入所需要が高まっていくと考えます。施設整備に当たっては、旧高橋小学校跡地などの旧小学校跡地の有効利用の検討も含め、高齢者が安心して住み続けることのできる環境を整備していきます。



▲旧高橋小学校跡地

**問** 現在の高橋小学校跡地では、地域の老人クラブの方が定期的にグラウンドゴルフを楽しまれています。また、体育館と休憩室では生きがいサロンが開催され大変好評です。そこで、施設ができた場合、入所された方と地域の方が交流できる介護施設と生涯学習施設が一体となった県内でもモデル的な施設を整備してはいかがでしょうか。

**答** 町長 私も賛成の部分もありますが、補助金の流れからしても、一つの事業の中で建設するというのは不可能なのかなどと思います。

県営ほ場整備事業「打越新田地区」の進捗状況は

町長 「全体の約61%の進捗状況です。」

**問** 打越新田地区のほ場整備事業については当初、総事業費5億1,000万円、平成30年度完了という計画で事業が進められていますが、現時点での進捗状況について伺います。

**答** 町長 打越新田地区については、平成25年度から県営ほ場整備事業を実施しています。平成26年度に本工事に着手し、現在3・4haのほ場が整備済みで、用排水路は1,782m、道路については88mが整備済みです。平成27年度については、前年度からの繰越工事とあわせて、整地工10・8ha、用水路工3、184m、道路工1、134mが整備される見込みです。事業採択のときの計画と比較すると、国の予算割り当てが厳しいことから、本来であれば本年度中に整地工が完了予定ですが、約61%の整備状況です。

**問** 国の予算割り当てが厳しくて計画どおりの完了は難しいということですが、当該地区の現状は大部分が小区画の水田

**答** 町長 できるだけ早い事業の完成を目指し国や県にも要望しています。今後、いろいろな形で努力してまいります。

で、農業用道路も少なく、狭いことから、大型機械による耕作が円滑にできないばかりか、水路も未整備の土水路です。また、地下水が高く、転作にも支障を来しています。こうしたことから、経営の近代化を図るには、どうしても田畑輪換が可能な条件整備は喫緊の課題です。町長と関係者が一丸となって国・県に対し、予算獲得に向けて至急行動していただきたい。



▲未整備の土水路



大根田周平 議員 (西高橋)



石川 保 議員  
(下高根沢)

## 芳賀町の将来にLRTをどう活用するのか

町長「コンパクトシティをつくるための手段として活用します。」

**問** このたびの選挙で当選された町長として、公約の実現の程は。LRTの祖母井まで延伸する実現とまちづくりのビジョンは。

**答** 町長 LRTの町中心部への延伸は、町民の利便性の向上や地域の活性化に加え、町の地盤沈下を防ぐねらいがあります。交流人口を増やすことにより町ににぎわいを生み出すことができれば定住人口の増加も期待できます。LRTは整備することが目的でなく、コンパクトシティをつくるための手段であると考えます。



▲管理センター前交差点から祖母井方面

LRTの導入に合わせ、バス路線の再編や地域内交通の充実、自動車、自転車からの乗り

継ぎ拠点の整備など、さまざまな利便性向上に一体的に取り組めます。

**問** 商店街の活性化資金の活用について具体的にどのようなものか伺います。

**答** 町長 町が考えている商店街活性化資金は、町内の事業者が今後も継続して商店事業を営んでいくことができる「持続化」の支援を行いたいという主旨です。内容はまだ具体化していませんが、中小企業振興資金の充実化、創業資金の支援制度を商工会などと、相談、連携しながら効果的で使い勝手のよい制度を創設したいと考えています。



▲祖母井の商店街



▲ひばりタクシー

**問** ひばりタクシーの増設と料金の低減とは具体的にどのようなことか伺います。

**答** 町長 今後、高齢化社会がますます進展する中、デマンド交通の利便性の向上は待ったなしの課題と捉えています。現在ひばりタクシーは、午前8時から午後5時までの営業で、料金は中学生以上300円、小学生以下150円です。近隣の高根沢町では、利用料金100円で、運行時間も午前7時から午後6時となっています。芳賀町も見直しを検討し、運行時間を拡大すると同時に料金も見直し、利便性の向上を図ります。

**問** 今回の町長選挙の結果は、74票差、投票率75・3%でした。これをどのように捉えているのか伺います。

**答** 町長 投票率は全国的にも年々低下する傾向にあり、この傾向に歯止めをかけるのは難しいと思っています。投票の結果については、前町長を半分の方が支持をしたというのを、謙虚に真摯に受け止めるしなければならぬと考えています。私が常々心がけていることは、聖徳太子の教えである「和を以て貴しとなす」の精神です。家庭も組織も地域も街も「和の心が大切である」と考えています。



▲明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」

## 芳賀町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について

町長「今年度中の制定に向け進めていきます。」

**問** 平成23年12月定例会において質問しましたが、その後「芳賀町健康づくり推進計画」の中で、一部、推進の努力目標程度で取り入れて頂きました。

**答** 町長 質問を受け、平成24年度の「健康づくり推進計画」の中間見直しに、歯の健康と歯周疾患予防について目標値等を明記しました。さらに歯周疾患検診の対象者を10歳ことから5歳ごとにし、平成26年度からは40歳から70歳全年齢を対象を広げ実施しましたが、受診率は上昇しませんでした。議員から歯周疾患検診と他の病気に對する医療費との関連データをいただき、大変参考になりました。今まで条例よりも事業をするのとだと考えていましたが、条例で知識の普及が進むのであれば、非常に効果的だと思います。

県の推進条例に基づき、事業が効果的に推進されるためにも、町の責務や町民の責務、関係機関の責務を明確にした歯と口腔の健康づくり推進条例案を制定に向けて検討しているのので、本年度中に制定するように進めていきます。



水沼 孝夫 議員  
(下延生)

## 地方人口ビジョン及び地方版総合戦略について

町長「芳賀町に住んでみたいと思えるようなまちづくりをします。」

町長 非常に難しい問題です。総合戦略としてのLRITを活用した次世代創生特区構想は、私も選挙公約に、便利をつなげるとしてLRITの祖母井延伸を公約に挙げました。考えとしては議員と同じです。総合的に両方とも相乗効果のような方法を考えていかなければ難しいと思っています。

**問** 前町長は人口減少を最重要課題として、人口ビジョンは企業誘致や居住条件の拡大により、持続的発展のできる2万人程度を目指したいと答弁していました。見目町長は特に高齢化社会を重視し、少子化・人口減少問題について少々トーンダウンした感があります。人口ビジョンについて2万人程度を目指すのか、新たな人口ビジョンを示すのか考えを伺います。

**答** 町長 前町長の発言は、長期的な計画、構想を明確にした上での人口ビジョンではなかったように記憶しています。私も2万人と言いたいところですが、さまざまな調査・分析をした上で人口の将来展望を見通すことができるかと考えています。

変わってしまいません。町で委嘱している日本生産性本部は、地方創生で人口増を前提に宅地等の整備と土地の高度利用を目的とした土地区画整理事業による手法と、人口減少の下で町並みを生かし、低コストで地域の実情に合わせた魅力づくりを行う手法と、2つ述べています。町長の選択は。

**問** 2040年11、179人まで減少し、高齢化率は37・7%になる。生産年齢人口は52%、年少人口10・7%。要するに48%が支えられる側、52%が支える側。あと25年で1人が1人を支える状況になって

いきます。町長は超長期的な目標としてLRITの祖母井延伸を掲げました。けれどそんな悠長な話は無責任です。町は今、非常に良いポテンシャルを持っています。LRIT・工業団地・財源等々。それを潰してしまう人口減少を受入れてのビジョンの立て方だけはやめていただきたい。人口フレームによる根拠が無ければ町づくりは成立しません。町長主導でしっかりとやっていただきたい。

またいろいろのな形で提言をいただければ参考にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**問** 町長の認識によつて、人口ビジョンも総合戦略も全く

